

(1)看護学科(4講義)

平成 31 年開設予定の看護学部では、実践力の高い看護師の育成を目指します。

講義番号	講義テーマ	講師	専門分野
看—1	<p>あなたは知っていますか？ ～物忘れだけではない認知症～</p> <p>認知症と加齢による物忘れは違います。あなたは知っていますか？認知症は生理的な現象ではなく、脳の障害によるものだということを。</p> <p>また、物忘れ＝認知症＝アルツハイマー病という定式を描いていませんか？物忘れだけが認知症の症状ではありませんし、アルツハイマー型認知症だけが認知症ではありません。本講義では 4 大認知症の特徴と、認知症の人の思いについて、当事者の映像をご紹介しますながらお話しします。</p>	<p>竹内 登美子 (教授)</p> 	老年看護学
看—2	<p>看護師自身の体を使って観察するフィジカルアセスメント</p> <p>看護は“観察から始まり、観察で終わる”と言われるほど、“観察”することを大切にしています。その多くは聴診器などの道具を使わず、看護師自身の体だけで観察しているのです。それは皆さんも日常生活で用いている、“目で見たり(視覚)、聴いたり(聴覚)、触れたり(触覚)、嗅いだり(嗅覚)”という方法です。看護師は、人間の身体はどこをどのような方法で観察しているのか、皆さんにも少し体験していただきながらお話しします。</p>	<p>岡本 恵里 (教授)</p> 	基礎看護学
看—3	<p>地域を看護するってどういうこと？</p> <p>皆さんの看護職のイメージは、ほとんどが病院で患者さんのケアを行う看護師だと思います。でも実は看護職は行政機関や企業、福祉施設等、様々な分野で活躍しています。今回は主に行政職として地域を看護している保健師の活動を中心に紹介します。キーワードは「予防」「健康寿命」「ネットワークと場づくり」です。このワードをもとに地域を看護する方法について具体的な事例を提示しながらお話しします。</p>	<p>越田 美穂子 (准教授)</p> 	地域看護学
看—4	<p>認知症の人とのかかわり方を看護の視点から学びましょう</p> <p>高齢化が進むにつれて、様々な病気を抱える高齢の方が増えてきています。様々な病気の中で、最も増えると予想される病の1つが認知症です。みなさんの身近な方にもいらっしゃるでしょうか？その方たちにどのように関わっていけばよいのでしょうか。認知症を看護の視点から学ぶことで、認知症をもつ高齢の方々を理解でき、より親しくなることが出来ます。一緒に学んでみませんか。</p>	<p>青柳 寿弥 (助教)</p> 	老年看護学

